

秋田工業高等専門学校
数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)
令和6年度 自己点検・評価結果

- 評価日時: 令和7年3月21日
- 会議名称: 自己点検・評価委員会
- 開催場所: 秋田工業高等専門学校
- 目的: 秋田工業高等専門学校 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム(リテラシーレベル)の自己点検評価
- 評価項目: 文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム(リテラシーレベル)」の審査項目の観点による評価

自己点検・評価の視点	自己評価	評価理由
教育プログラムの履修・修得状況, 学修成果に関する事項	A	対応科目は必修科目のため、全ての学生が履修している。また修得率(履修者数に占める単位の修得者数の割合)は 95-100%である。学修成果(成績)の平均は“良(79 点~60 点)”に区分され、十分な学修成果が得られている。
授業アンケート等を通じた、学生の内容の理解度・他の学生への推奨度に関する事項	A	授業アンケートより、学生の内容の理解度については 90%以上の学生が「とてもそう思う」「ある程度そう思う」と回答している。他学生への推奨度に関しては、対応科目が必修科目のため推奨は不要である。
全学的な履修者数・履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	A	対応科目はすべて必修科目のため、履修率は 100%である。
教育プログラム修了者の進路・活躍状況, 企業等の評価に関する事項	—	本プログラムの修了者がいないため評価できない。

評価基準 A: 十分満足している B: 満足している C: 改善を要する